

広報つるおか特集号

鶴岡市誕生10周年 記念誌

Tsuruoka City 10th Anniversary Memorial Book

／ 僕たちも鶴岡市も10歳 ／



鶴岡市は
10月1日に
合併・市制施行
10周年を迎えます

鶴岡市が誕生した平成17年10月に生まれた
甲斐くん、太久朗くん、大夢くん(写真左から)

人くらし 自然 みんないきいき 心やすらぐ文化をつむぐ 悠久のまち 鶴岡

鶴岡市誕生十周年に寄せて

鶴岡市長 榎本政規

私たちのまち鶴岡市が合併・市制施行十周年を迎えます。この間、東日本大震災や異常気象の発生、世界的な景気変動による地域経済への影響などがありました。本市においては、おおむね平穏に経過してきたと思います。十周年という佳節を市民の皆様とともに祝いしたいと思います。

平成十七年十月一日に鶴岡市、藤島町、羽黒町、櫛引町、朝日村、温海町の六つの市町村が合併し、新「鶴岡市」が発足しました。その理由は深刻さが増す財政状況の下、基礎自治体としての財政基盤を強化・効率化すること、また少子高齢化の進展や地域間競争の激化など社会経済情勢が変化するなか、充実した施策を講じられるよう行政能力を向上することを目指すものでした。以来、合併時にまとめた「新市建設計画」と市政運営の基本方針である「鶴岡市総合計画」の下、産業・教育・健康福祉・消防・道路・公園など、新市に必要な社会基盤を順次整備してきました。また、地域の声を市政に反映させるために地域審議会を設置し、地域振興計画に基づき地域活性化事業等を

行うなど、六地域のこれまでの取り組みを継承しながら、新市として再編し、一層強力で推進してきました。

市民や地域の皆様とともに歩んだこの十年間で、新市としての一体感は醸成され、新しい時代に向けた発展基盤は更に強固に築かれつつあると感じています。日本初のユネスコ創造都市ネットワーク食文化分野への加盟はその一つです。先人のたゆまぬ努力によって保存継承されてきた本市の優れた食文化が、時代と国境を越えて世界に認められたことは誠に意義深く、農林水産業や観光産業、食関連産業の振興など地域活性化への波及が期待されます。一方、人口減少対策や地域経済の活性化、自然災害などから市民を守る安全安心な地域づくりなどの課題も顕在化しています。将来にわたり活力と希望に満ちた都市として存続するため、市民・地域・行政が協調・協力し、地域の総合力で時代の課題へ果敢に挑戦してまいります。

このたびの合併・市制施行十周年はこれまでの歩みを振り返るとともに、明るい将来に向けて更なる飛躍を期す

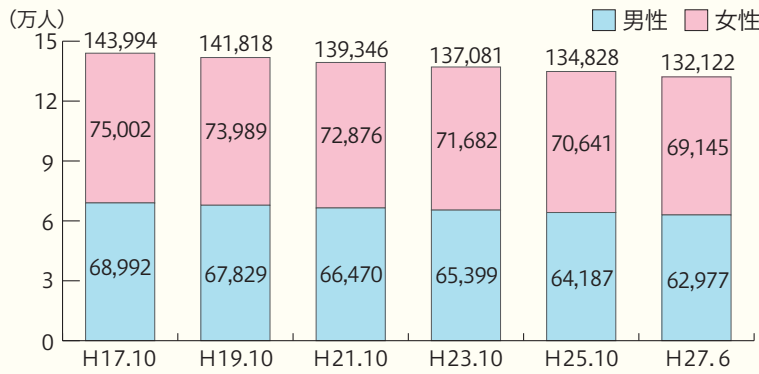


市町村合併から十年。

数字で見る鶴岡市 2005 ▼ 2015

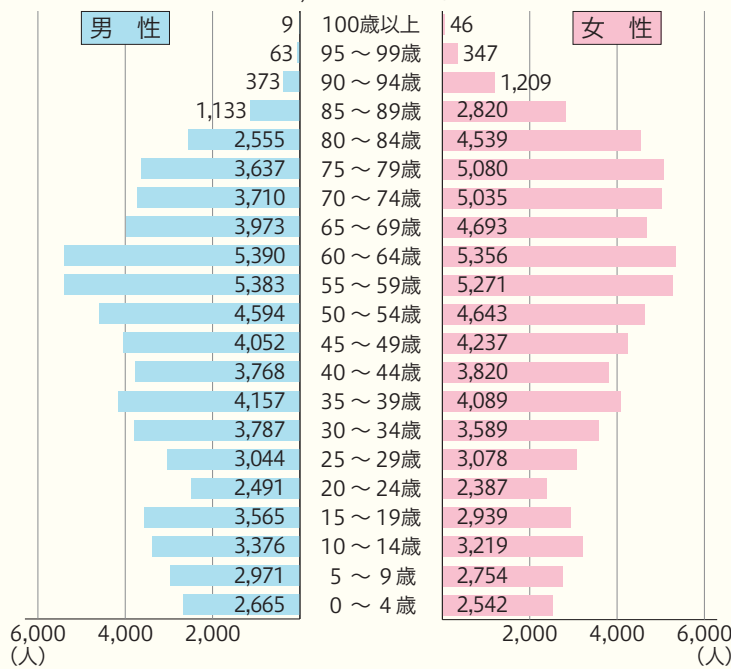
■男女別人口の推移【平成17年10月～27年6月】

(資料) 鶴岡市住民基本台帳



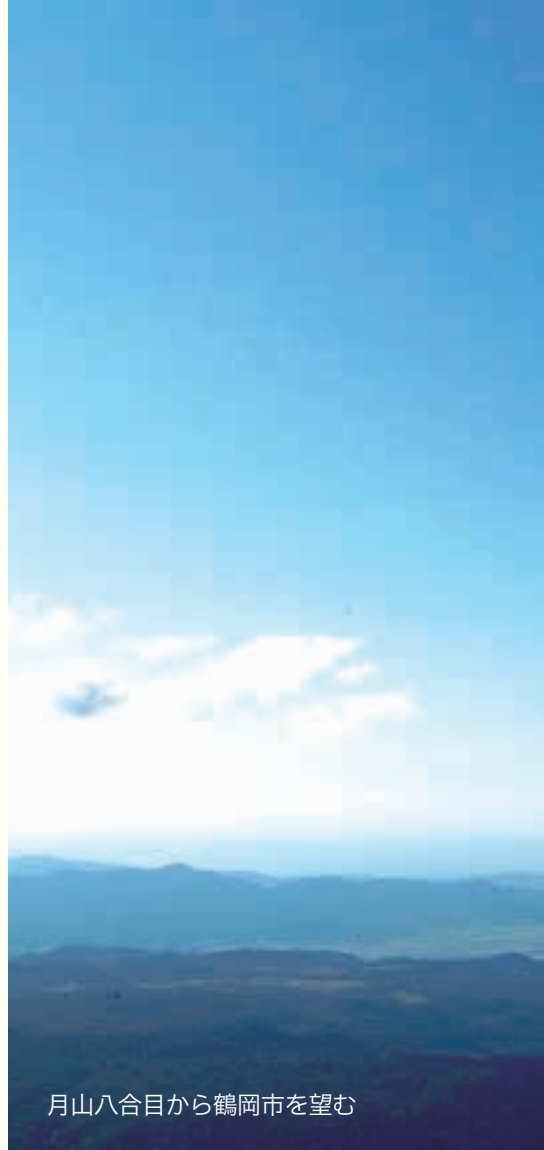
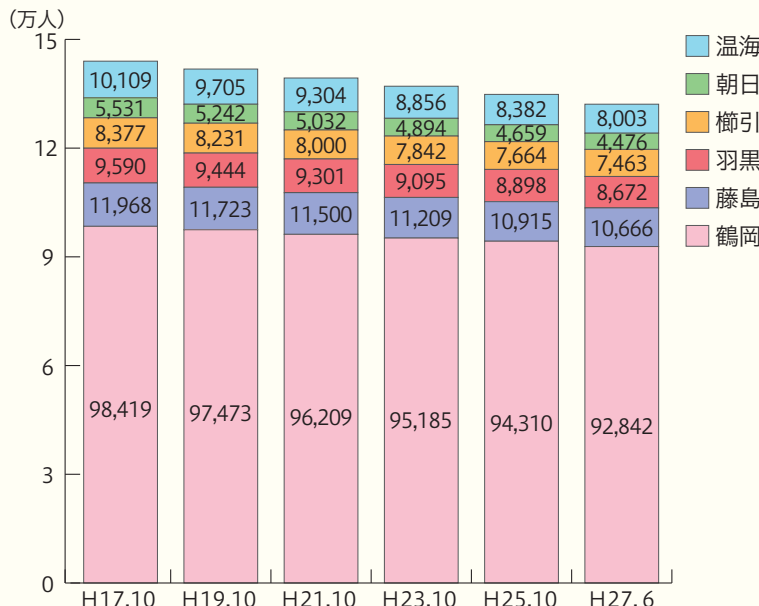
■男女年齢別人口【平成22年10月1日】 (資料) 国勢調査

男女合計 136,389人 (年齢不詳者を除く)



■地域別人口の推移【平成17年10月～27年6月】

(資料) 鶴岡市住民基本台帳



月山八合目から鶴岡市を望む

節目です。本市では鶴岡市総合計画の着実な推進と本市の未来に向けた成長戦略「鶴岡ルネサンス宣言」及び五つの文化都市宣言（創造文化都市宣言、観光文化都市宣言、学術文化都市宣言、安心文化都市宣言、森林文化都市宣言）に基づく各種施策を展開し、一人ひとりが夢と誇りを持って安心して暮らせるまちを、市民の皆様とともに築いて

まいります。そして、めざす都市像「人くらし 自然 みんないきいき 心やすらぐ文化をつむぐ 悠久のまち 鶴岡」の実現に向けて、これからも前へと歩みを進めます。
市民の皆様をはじめ、本市の将来を思ってくださいる多くの方々からの、更なるご理解とお力添えを心からお願い申し上げます。



平成17年 (2005年)

- 10月1日 ▼ ①旧鶴岡市、旧藤島町、旧羽黒町、旧櫛引町、旧朝日村、旧温海町の6市町村が合併し、新たに「鶴岡市」が発足
- 10月14日〜16日 ▼ 地域伝統芸能全国フェスティバルやまがたが開催
- 10月23日 ▼ 新市初の市長選挙及び市議会議員選挙を実施
- 11月9日 ▼ ②新市初の市議会が開会
- 11月21日 ▼ 鶴岡市合併記念式典を挙行

平成18年 (2006年)

- 2月10日 ▼ 6地域に地域審議会を設置
- 3月28日 ▼ 「日本の豊かな資源を活かしたまちづくり計画」が国の地域再生計画に認定
- 4月3日 ▼ 鶴岡市地域包括支援センターが開所
- 4月11日 ▼ 市がJAS有機農産物認定機関に登録
- 5月1日 ▼ 市が景観行政団体に移行
- 5月24日 ▼ 由良海水浴場とマリナーパークねずがせきが国の「快水浴場百選」に選定
- 6月1日 ▼ ③鶴岡市先端研究産業支援センターが完成
- 7月17日 ▼ 鼠ヶ関港周辺が国の「みなとオアシス」に認定
- 10月1日 ▼ 市民憲章、市の木(ブナ)、市の花(さくら)を制定
- 10月8日 ▼ ④合併1周年記念鶴岡市子ども運動会が開催
- 11月30日 ▼ 櫛引南小学校校舎が完成

平成19年 (2007年)

- 3月18日 ▼ 山崎誠助氏、北村昌美氏を名誉市民に推戴
- 4月1日 ▼ 消防事務組合、衛生処理組合を解散し、市の行政組織として再編
- 6月8日〜11日 ▼ 無形文化遺産の保護とコミユニティの事例研究ワークショップが開催
- 6月12日〜18日 ▼ ⑤第4回世界子ども音楽交流フェスティバルが開催
- 6月23日・24日 ▼ 全国藩校サミットin鶴岡が開催
- 11月20日 ▼ 市が地方自治法施行60周年記念総務大臣賞を受賞
- 12月1日 ▼ 鶴岡市湯野浜分署の移転新築による西分署と消防署西分署大山分遣所が開設
- 12月5日 ▼ 出羽の古道六十里越街道が国の日本風景街道のモデルルートに選定
- 12月5日 ▼ 鶴岡第二中学校校舎と体育館が完成

平成20年 (2008年)

- 2月29日 ▼ 梳代地区、大網地区、暮坪地区、越沢地区の棚田が県の「やまがたの棚田20選」に認定
- 4月1日 ▼ 消防団組織を再編し、鶴岡市消防団(9方面隊・40分団)が発足
- 4月1日 ▼ 藤島地域と羽黒地域で下水道整備事業が完了
- 4月1日 ▼ 朝日地域にケーブルテレビジョンのサービスエリアが拡張
- 5月1日 ▼ 鶴岡市景観計画を策定
- 5月14日 ▼ ⑥鶴岡市立加茂水族館が古賀賞を受賞
- 7月9日 ▼ 「鶴岡市中心市街地活性化基本計画」が国から認定

年表で振り返る 鶴岡市の10年の歩み



7月11日▼「つるおか森のキャンパス元気プロジェクト」が国の地方の元気再生事業に採択
 8月5日▼市内認定農業者組織を統合し、鶴岡市認定農業者会議が新設
 9月1日▼鶴岡市給水条例を改正施行し地域別料金を統一
 10月30日▼⑦大山上池・下池がラムサール条約湿地に登録

平成21年（2009年）

1月7日▼鶴岡市緊急経済対策本部を設置
 1月19日▼⑧新市初の鶴岡市総合計画を策定
 2月24日▼環境つるおか推進協議会を設立
 2月25日▼新市初の地震災害対策本部設置運営訓練を実施
 3月16日▼⑨羽黒山杉並木が『ミシユラン・グリーンガイド・ジャポン』で三つ星に認定
 3月23日▼鼠ヶ関小学校校舎が完成
 4月1日▼月山水道企業団が解散し鶴岡市水道事業と統合
 4月17日▼七五三掛地区で発生した地滑り災害に関する災害対策本部を設置
 5月24日▼木古内町・鶴岡市姉妹都市盟約20周年記念式典を挙行政
 7月29日▼⑩南シユバルツヴァルト自然公園協会と友好協定を締結
 9月24日▼鶴岡市・鹿児島市兄弟都市盟約40周年記念式典に参加
 10月11日▼鶴岡市長・市議会議員選挙を実施
 10月22日▼⑪富塚陽一市長が退任
 10月23日▼⑫榎本政規市長が初登庁
 10月28日▼⑬鶴岡まちづくり塾が発足
 12月21日▼朝陽第一小学校校舎・体育館が完

成

平成22年（2010年）

2月3日▼鶴岡市防犯協会を設立
 3月20日▼ふるさと鶴岡産業活性化懇談会が友好都市江戸川区で初開催
 3月31日▼丸岡城跡史跡公園復元整備が完了
 4月1日▼⑭鶴岡市総合保健福祉センターが開所
 4月1日▼第三学区コミュニティセンターが改築
 4月1日▼櫛引東部児童館とくしびき保育園東部分園を再編しくしびき東部保育園が開園
 4月29日▼⑮鶴岡市立藤沢周平記念館が開館
 7月15日▼湯野浜上区公衆浴場開場式を挙行政
 8月4日▼鶴岡市学校適正配置検討委員会が初開催
 9月4日▼月山ワインまつりが赤川河川緑地で初開催
 9月12日▼慶應義塾大学先端生命科学研究所開設10周年記念シンポジウムが開催
 10月1日▼市制施行5周年記念式典を挙行政
 10月6日▼鶴岡ふるさと観光大使へ委嘱状を初交付
 10月12日▼休日夜間診療所で平日夜間の診療を開始
 10月23日▼東北公益文科大学創立10周年記念式典が開催
 11月4日▼つるおか農商工観連携総合推進協議会を設立
 11月14日▼⑯食文化都市推進シンポジウムが開催
 11月16日▼⑰ニューブランズウィック市との姉妹都市盟約50周年記念碑を建立



平成23年 (2011年)

- 3月2日 ▼ 平和都市宣言
- 3月11日 ▼ ①～⑤ 東日本大震災が発生。鶴岡市で震度5弱を観測。鶴岡市災害対策本部を設置。避難者受入れや被災地で救援活動開始
- 3月25日 ▼ 鶴岡市地域公共交通総合連携計画を策定
- 4月1日 ▼ ⑥ 鶴岡市消防本部・消防署が移転改築。消防署中央分署が開設
- 4月1日 ▼ あつみ保育園が開園
- 5月24日 ▼ 鶴岡市学校適正配置基本計画を策定
- 5月25日 ▼ 食文化創造都市推進事業が国の文化芸術創造都市モデル事業に採択
- 6月1日 ▼ 西郷地区農林活性化センターが開所
- 6月2日 ▼ ⑦ 鶴岡市行財政改革推進委員会が意見書を提出
- 7月13日 ▼ 鶴岡市行財政改革大綱・実施計画を策定
- 8月4日 ▼ 鶴岡市先端研究産業支援センターの拡張整備が完了
- 8月24日 ▼ 日本海沿岸東北自動車道の本県と新潟県・秋田県の各県境区画について、国が計画段階評価に着手
- 9月27日 ▼ つるおか婚活支援ネットワークが開設
- 11月4日 ▼ 江戸川区・鶴岡市友好都市盟約30周年記念式典を挙行
- 11月13日 ▼ 森林文化都市サミット共同宣言
- 12月15日 ▼ ⑧ 各地域審議会が意見書を提出

平成24年 (2012年)

- 3月9日 ▼ 羽黒中学校校舎・体育館が完成
- 3月22日 ▼ 加茂水族館がギネス世界記録に認定
- 3月22日 ▼ 鶴岡市国土利用計画を策定
- 3月24日 ▼ ⑨ 日本海沿岸東北自動車道あつみ温泉インターチェンジから鶴岡ジャンクションまで供用開始
- 3月24日 ▼ 国道112号鶴岡北改良が供用開始
- 4月1日 ▼ ⑩ 鶴岡みらい健康調査が開始
- 4月23日 ▼ ⑪ 鶴岡市自然学習交流館が開館
- 4月26日 ▼ 鶴岡市第二次行財政改革大綱・実施計画を策定
- 5月15日・28日 ▼ 兵庫県篠山市・新潟県胎内市と災害時相互応援に関する協定を締結
- 10月5日 ▼ ⑫ 三川町・庄内町と庄内南部定住自立圏の形成に関する協定を締結
- 10月20日 ▼ 緑の鶴岡・農林水産まつりとつるおかの工場フェスタが統合し、つるおか大産業まつりが初開催
- 12月21日 ▼ 市議会議員定数の2人削減が決定

平成25年 (2013年)

- 2月14日 ▼ 鶴岡食文化創造都市推進協議会がユネスコ創造都市ネットワークの食文化分野加盟認定を申請
- 3月21日 ▼ 鶴岡市食育・地産池消推進計画を策定
- 3月29日 ▼ 鶴岡市地域コミュニティ基本方針を策定
- 4月1日 ▼ 広報つるおかが月2回から1回発行へ
- 4月1日 ▼ 本郷・朝日・大泉・大網保育園が統合し、朝日保育園が開園

年表で振り返る 鶴岡市の10年の歩み



平成26年(2014年)

4月12日▼消防署中央分署が移転改築
 4月30日▼鶴岡市第1回公募公債(加茂水族館クラゲドリーム債)を発行
 5月15日▼日本海沿岸東北自動車道新潟県境区間が事業化決定
 5月16日▼鶴岡市地域エネルギービジョンを策定
 6月30日▼由良コミュニティセンターが改築
 10月13日▼鶴岡市長・市議会議員選挙を実施
 11月22日▼鶴岡市歴史的風致維持向上計画が国から認定
 11月24日▼荘内病院創立100周年記念式典を挙げる

1月21日▼鶴岡市環境保全型農業推進計画を策定
 1月31日▼文化会館が改築整備のため休館
 3月10日▼⑬松例祭の大松明行事が国の重要無形民俗文化財に指定
 3月23日▼朝陽第四小学校校舎が完成
 3月31日▼鶴岡市総合計画後期基本計画を策定

3月31日▼藤島・羽黒・櫛引・朝日・温海地域振興計画を策定
 4月1日▼朝陽第四小学校、あさひ小学校が開校
 4月1日▼藤島地域の5地区公民館が各地域活動センターに移行
 4月23日▼鶴岡市スポーツ推進計画を策定
 4月30日▼鶴岡市第2回公募公債(加茂水族館クラゲドリーム債)を発行
 6月1日▼⑭加茂水族館がリニューアルオープン

6月14日▼⑮山形デステイネーションキャンペーンが開始
 6月23日▼第10回国際メタボロミクス会議が開催
 8月2日▼鶴岡市・木古内町姉妹都市盟約25周年記念式典に参加
 8月25日▼鶴岡浄化センター消化ガス発電事業基本協定を締結
 9月15日・25日▼出羽庄内国際村20周年記念音楽祭・ワールドバザールが開催
 11月7日▼鹿児島市・鶴岡市兄弟都市盟約45周年記念式典を挙げる
 11月15日▼新島村・鶴岡市友好盟約30周年記念式典を挙げる
 11月22日▼鶴岡市民憲章推進50周年記念式典を挙げる
 12月1日▼⑯ユネスコ創造都市ネットワークの食文化分野に加盟認定

平成27年(2015年)

2月4日▼消防救急デジタル無線運用開始
 2月15日▼ユネスコ創造都市ネットワーク加盟認定記念式典を挙げる
 3月1日▼県立こころの医療センターが開院
 3月23日▼朝日中学校校舎・体育館が完成
 4月1日▼羽黒地域の4地区公民館が各地域活動センターに、朝日地域の3地区公民館が各コミュニティセンターに移行
 4月1日▼豊浦小学校が開校
 4月10日▼鶴岡市子ども読書活動推進計画を策定
 4月13日▼消防署温海分署が移転改築
 7月2日▼鶴岡市総合戦略策定推進会議を初開催

7月2日▼鶴岡市総合戦略策定推進会議を初開催

誕生から10年の節目を迎える鶴岡市。それぞれの分野で頑張っている市民の方から、鶴岡がどんなまちになってもらいたいのか、お話を伺いました。

多様であることを知る

伊藤 卓朗 さん 科学者（鶴岡）

仕事やイベントで広く市内各所に足を運びますが、どの地域に行っても親しみを感じます。合併によって垣根がなくなり、交流しやすい環境ができていないでしょうか。そして、地域を知れば知るほど、長い時間をかけて培ってきた文化の豊かさを実感します。

鶴岡の豊かさは市内の資源や魅力が集落単位で多様な点にあると思います。この多様性を構成する一つひとつについて「他地域や市外と比較してどうなのか」

「ここにしかないのは何か」と意識することで、地域への理解が深まり愛着も湧いてきます。

鶴岡の中でも方言や食べ物の味に違いがありますが、子供の頃にこのような多様性に触れみてもいいですね。そうすることで、進学や就職で離れたときに、文化の違いをより明確に意識でき、自分が生まれ育った地域の豊かさを実感できると思います。鶴岡の今を楽しむことで未来の発展につなげていきたいです。

おいしいお米を作り続ける

安在 堅 さん 農業（藤島）

私の住んでいる藤島地域は庄内平野の真ん中にありますが、海も山も近くに感じます。人が優しく食べ物もおいしいので、とても住みやすい所だと思います。高校卒業後の進路を考えたときも、庄内で暮らしたいと思いました。

地元の大学を卒業して地元企業で働いた後、実家の水田を譲り受け稲作をしています。頑張れば頑張った分だけ成果に現れるのが農業の魅力。逆に手を抜くことや、うそをつくことができない緊張感

もあります。鶴岡にはこだわりを持って米を作っている農家が多いので、とても刺激になるし、自分も勉強して負けられないようなおいしい米を作りたいです。

新規就農制度を活用して農業をする若い人も出てきました。農業は受け継いでいく産業でもあるので、子供がたくさんいるまちになってほしいですね。現在、子育ての最中ですが、稲を育てると同じように真剣勝負です。農業を通して大切なことを教えてもらっています。

世界の中の観光都市に

北風 加奈 さん 会社役員（羽黒）

合併によって食や伝統の面でも地域の資源が更に多様化し、鶴岡市全体の魅力も一層増したように感じています。鶴岡には自信を持って世界へも発信できる魅力があると思います。鶴岡を訪れる方々に楽しんでいただくためには地域内でもその魅力に気付いて楽しむことが大切だと思います。そのために情報発信源として地域情報誌を発行しています。また、庄内のおいしいお米や食材を紹介するお店を運営することで農業分野の応援や食

文化のPRにつながればと思っています。

出羽三山地域にはもともと登山や参拝などで多くの方々がいらっしゃいますが、今後、食文化創造都市としての発信が進めば、海外からのお客様も増えるだろうと思います。外国語パンフレット・掲示物の拡充、外国語の習得や地域でのおもてなし力の向上など、鶴岡市全体で国際的な観光都市としての環境を整え、世界からのお客様を温かく受け入れるようなまちになるといいなと思っています。

Tsuruoka



Fujishima



Haguro



わたしが思う「これからの鶴岡」

Kushibiki



農業を支える仕組みを

重松 考 さん 農業（櫛引）

合併直前の平成16年に、妻の実家がある旧櫛引町に移住しました。鶴岡は海の幸も山の幸も豊富なので大好きです。また、櫛引地域はスポーツが盛んで、自分も運動が好きなので、すぐに地域になじむことができました。

私は県外出身ですが、子供がいると学校を介して地域とのつながりが深くなります。同じ学区でも集落によっては子供が減って高齢化も進み、地域行事ができなくなっているところもあると聞きます。

少子高齢化の流れの中で、地域の伝統や産業をどう守っていくのか問われているときではないでしょうか。

櫛引地域は多品種・高品質の果樹栽培で知られています。栽培面積はそれぞれ小さいですが、手間をかけて育てることを誇りとしています。しかし、農家の後継者不足も深刻です。農業の応援者を増やすこと、そして非農家でも興味があれば農業に携われる仕組みづくりを、地域の若い農家と一緒に考えています。

Asahi



自然を守り継ぐ

佐藤 保 さん 自営業（朝日）

合併して10年がたちますが、日常生活でそれを実感したことは少なかつたように思います。様々な特徴を持つ6つの地域が合併したので、それぞれが頑張っていることをお互いを知る機会がもっと多くてもよいと思います。

鮮魚店を営んでいますが、山形方面からの観光客が新鮮な海産物を求めて足を留めてくれます。朝日地域も鶴岡の玄関口。山間でも庄内の魚のおいしさを伝えたいと考え、庄内浜文化伝道師の資格を

取り、また郷土料理の調理方法を老舗旅館の方から学びました。鶴岡の食文化を伝える一役を担いたいと考えています。

山から海へと自然はつながっています。朝日地域の自然を次の世代に大切に引き継いでいきたいですね。そのためには四季を通して自然と関わるのが大事だと思います。朝日地域には森林や水源などの豊かな自然を守り支えている人がいます。このような地域の取り組みをもっと発信することが必要ではないでしょうか。

Atsumi



海の名産づくりを

佐藤 洋生 さん 漁業（温海）

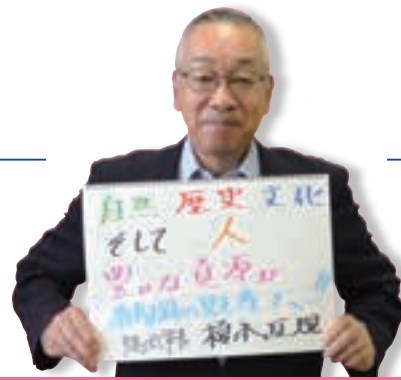
合併によって鶴岡の自然は山・川・海と豊かになりました。また、イベントなどを通し、いろいろな地域の農林漁業者とつながる機会も増えたと思います。鼠ヶ関大漁旗フェスティバルでは、私たちの魚に加え農家の野菜・山菜や食肉等も取り扱います。地元食材と一緒にPRすることで食関連産業の底上げにつなげたいです。

庄内の魚の中から全国でも名が知られるようなブランド魚が出てくれば、漁業

や漁村地域の活性化にもつながります。海の名産づくりに挑戦することも重要だと思っています。

魚介類の消費減少や魚価の低迷、漁師の後継者不足・高齢化など漁業には課題が多くあります。若い漁業者と一緒に今の状況を何とか変えていきたい。漁業が好転すれば、私たちの住む漁村地域も今以上に元気になると思います。新しい魅力を見いだして、若い人が働きたくなるような漁業を目指したいですね。

自然、歴史、文化、そして人。
あなたは鶴岡のどんなところが好きですか？



高橋弘さん



長谷川陽子さん



三浦雄大さん



板垣淳さん・幸澄くん

つるおか



富樫明美さん



田村晃さん



鈴木愛菜さん



叶野幸喜さん

ふじしま



高橋宏尚さん



菊池淳子さん



渡部仲峰さん

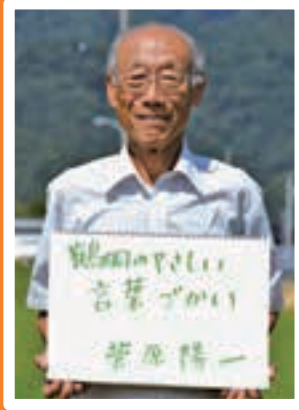


バスケス峰さん

はぐろ

市民の皆さんにお聞きしました 鶴岡のここが好き！

くっぴり



菅原陽一さん



齋藤公美さん



小林丈朗さん



佐藤圭さん

あさひ



難波知里さん



難波智明さん

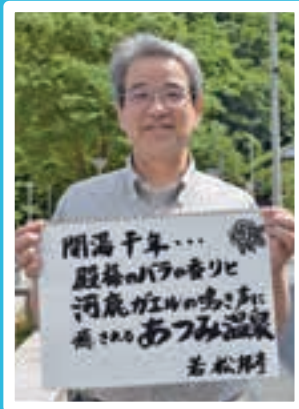


遠藤章子さん



門脇千衿さん・遠藤雄輝さん

あつみ



若松邦彦さん



松澤彩花さん



本間高志さん



土岐薫さん



鶴岡市民憲章

出羽の山なみと日本海に抱かれ、
歴史と文化を築いてきた、
いのち輝くまち鶴岡。
わたくしたちは、
このふるさとを愛し、力を合わせて、
希望に満ちた未来をひらきます。

自然を尊び、環境をととのえ、美しいまちにしましょう。
心も体も健やかに、命はぐくむまちにしましょう。
認め合い、助け合って、笑顔あふれるまちにしましょう。
働くことを喜び、生き生きとした豊かなまちにしましょう。
進んで学び、共に語り、創意わき出るまちにしましょう。

【市の木】
ブナ



【市の花】
さくら



この特集について、詳しくは本所総務課へ
☎25 - 2111内線316 ✉so-somu@city.tsuruoka.lg.jp